

令和7年度

東北支社管内気象予測業務

特記仕様書（案）

※特定後に、特定者と協議をし、特定者の技術提案内容を反映する場合があります

令和6年10月

東日本高速道路株式会社

東北支社

目 次

第1章 総則

- 1－1 業務概要
- 1－2 履行期間
- 1－3 適用する共通仕様書等
- 1－4 テクリスへの登録
- 1－5 用語の定義
- 1－6 担当技術者
- 1－7 完了検査
- 1－8 一部完了検査
- 1－9 部分引渡しの指定部分
- 1－10 成果品
- 1－11 その他事項

第2章 業務細部に関する事項

- 2－1 気象予測
- 2－2 暖候期保全業務支援
- 2－3 雪氷期保全業務支援
- 2－4 評価・検討
- 2－5 気象情報提供
- 2－6 気象警報情報メール提供
- 2－7 ホームページ気象予測情報提供
- 2－8 気象説明会の実施
- 2－9 報告書作成
- 2－10 気象情報コンテンツ提供
- 2－11 打合せ
- 2－12 NEXCO の観測データ収集
- 2－13 補足事項

第1章 総 則

1-1 業務概要

1-1-1 業務概要

本業務は、道路気象情報を利活用して、東日本高速道路株式会社東北支社（以下、当社という）が行う異常気象対策及び雪氷対策作業をより円滑かつ効果的に実施し、適切な道路の維持管理に資することを目的とした気象予測に関する業務、並びにお客さまの利便性・満足度の向上を図るため、高速道路沿線の気象情報、安全運転の啓発や各種道路保全事業への理解を求める広報として、気象及び道路情報を提供する業務である。

1-1-2 業務範囲

（1）業務名 令和7年度 東北支社管内気象予測業務

（2）路線名
（高速道路）

東北自動車道（白河ＩＣ～青森ＩＣ）
青森自動車道
八戸自動車道
秋田自動車道（一般有料道路に示す区間以外）
釜石自動車道
日本海東北自動車道
山形自動車道
東北中央自動車道（一般有料道路に示す区間以外）
磐越自動車道（いわきＪＣＴ～津川ＩＣ）
常磐自動車道（いわき勿来ＩＣ～亘理ＩＣ）

（一般有料道路）

百石道路
秋田自動車道（秋田外環状道路）
秋田自動車道（琴丘能代道路）
東北中央自動車道（湯沢横手道路）
東北中央自動車道（米沢南陽道路）
仙台東部道路
仙台北部道路
仙台南部道路
三陸自動車道

1-2 履行期間

本業務は、共通仕様書1-1-3「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の

始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式－2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 830 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

全体履行期間は余裕期間を含む日数

1－3 適用する共通仕様書等

契約書第 1 条に規定する「調査等共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）は、令和 6 年 7 月版とする。

1－4 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－12－4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 100 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内

（2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内

（3）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－5 用語の定義

共通仕様書 1－2「用語の定義」に次を追加する。

（30）「気象予報士」とは、気象業務法に定める資格をいう。

1－6 担当技術者

共通仕様書 1－10「担当技術者」に次を追加する。

- (4) 設置する担当技術者は、気象予報士を有する者（資格取得後 3 年後以上の実務経験を有すること。）でなければならない。

1－7 完了検査

1－7－1 調査等完了届提出の要件

調査等完了届提出の要件については、共通仕様書 1－33－2「調査等完了届提出の要件」によらず次のとおりとする。

受注者は、調査等完了届を発注者に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 業務内容確認検査に合格していること。
- (2) 報告書（紙および報告書電子データ）の作成が完了していること。
- (3) 契約変更を行う必要が生じた調査等においては、最終変更契約を発注者と締結していること。ただし、契約書第 26 条に基づき請負代金額の変更、増加費用、損害額について協議中のため、この変更契約を締結できない場合で契約期間に達した場合は、その部分を除く最終変更契約書が準備されていること。

1－8 一部完了検査

1－8－1 調査等一部完了届提出の要件

調査等一部完了届提出の要件については、共通仕様書 1－34－2「調査等一部完了届提出の要件」によらず次のとおりとする。受注者は、調査等一部完了届を発注者に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 業務内容確認検査に合格していること。
- (2) 指定部分の成果品の作成が完了していること。
- (3) 契約変更を行う必要が生じた調査等においては、部分引渡しに伴う変更契約を発注者と締結していること。ただし、契約書第 26 条に基づき請負代金額の変更、増加費用、損害額について協議中のため、この変更契約を締結できない場合で引き渡し時期に達した場合は、その部分を除く変更契約書が準備されていること。

1－9 部分引渡しの指定部分

契約書第 39 条の規定に基づく指定部分及びその引渡し時期は、次表のとおりとし、表に示す引渡し時期までに受渡しを完了するものとする。

指定部分	引渡し時期	摘 要
暖候期保全業務支援 A 5 ヶ月	2026 年 6 月 30 日	引渡しの対象 2025 年 6 月 1 日 ～2026 年 4 月 30 日
暖候期保全業務支援 B 5 ヶ月		
雪氷期保全業務支援 A 3.5 ヶ月		
雪氷期保全業務支援 B 2.5 ヶ月		
雪氷期保全業務支援 C 6 ヶ月		

気象情報コンテンツ提供（雪氷期）A 4ヶ月		
気象情報コンテンツ提供（雪氷期）B 4ヶ月		
気象情報コンテンツ提供（暖候期）7ヶ月		
気象情報提供運用費 11ヶ月		
気象監視用機器運用費 11ヶ月		
気象警報情報メール提供 11ヶ月		
ホームページ気象予測情報提供 6ヶ月		
報告書作成 A 1式		
報告書印刷製本 A 1式		

1-10 成果品

本業務における成果品は、以下のとおりとする。

報告書	部数	備考
報告書（A4版）	2部	一部完了及び完了時に1部ずつ
報告書（電子データ）	2部	一部完了及び完了時に1部ずつ

※1 本仕様書2-9-1に示す①～⑦の取りまとめ項目のうち、③対象期間中のNEXCO 観測・地点別データの月・日集計及び5分毎データの取りまとめについては、紙によらず、電子データ（CD等）とし、一部完了及び完了時に報告書巻末等に2部ずつ付属するものとする。

※2 報告書（電子データ）とは、A4版で作成した紙の部分について電子データ化を行うものとし、調査等業務の電子納品要領によらず電子化を行うものとする。

※3 本業務においては、共通仕様書1-45-3「電子納品」に規定する電子納品による成果品の作成は行わないものとする。

1-11 その他事項

- （1） 本契約に基づき受注者より提供されるサービスは、気象学的解析に基づく情報の提供に限定され、また予報としての性格上、不可知の要素を含んでいるため、自然の力や不可抗力により引き起こされたいかなる損害に対しても、受注者は、その責を負わないものとする。
- （2） 提供情報の利用は、発注者の責任において行われるものとし、提供情報に基づいて遂行された活動において発生した、いかなる人的損傷、死亡、所有物の損失、損害等について、受注者の故意又は重大な過失による場合を除き、受注者は、その責を負わないものとする。
- （3） 受注者以外の者が無断で本サービス又は本サービスに付帯するデータ内容を変更した場合、受注者は、これにより生じる結果について、いかなる責も負わないものとする。
- （4） 本サービスの使用とその管理は、発注者の責任とし、発注者の使用上の過誤あるいは第三者による不正使用等について、受注者は、いかなる責も負わないものとする。
- （5） 本サービスの提供が天災地変等の不可抗力又は受注者の責に帰すことのできない事由

により履行不能となった場合、受注者は、いかなる責も負わないものとする。

- (6) 本契約に基づき受注者より提供される気象予測情報について、災害等が発生する恐れがある等発注者が必要な場合において、発注者は、道路管理上必要な特定の関係者に気象予測情報を提供し、利用させることができる。ただし、受注者は、これにより生じる結果について、いかなる責も負わないものとする。
- (7) 大規模災害が想定される場合、受注者は、必要に応じて技術者等の現地派遣等の柔軟な対応を行い、発注者の防災体制を支援するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 気象予測

2-1-1 気象予測

受注者は、管理技術者又は担当技術者を常駐させ、次に定める予測区間及び予測期間について気象予測情報を提供する。なお、気象予測は、気象庁発表の気象資料、NEXCOの気象観測データ、受注者独自の気象予測システム等を活用して解析した後、総合的な検討を行い、適切な道路の維持管理に資するための気象予測情報の提供を行うものとする。

また、気象予測の不確実性が高い段階においては、予測の幅を併記する等して、発注者が防災対応を判断するための着眼点を明確化した資料を提供するものとする。

(1) 予測区間および通行止め等基準値

予測区間は別表-1のとおりとし、通行止め等基準値については、監督員から通知する。

なお、通行止め等基準値を見直した場合の費用については別途監督員と協議する。

(2) 気象解析

気象解析とは、気象庁による気象資料及び発注者が受注者に提供する観測資料、過去の気象観測データなどを用いて、受注者が気象予測を行うことをいう。

受注者は、気象解析の結果をもとに、発注者の行う道路保全業務を支援するための気象情報提供を実施するものとする。気象解析及び気象情報提供にあたっては、履行区間の地域特性を反映するとともに、発注者の行う道路保全業務に必要な情報を的確に伝達するものとする。

(3) 気象監視

受注者は、気象監視において(2)気象解析の予測結果の変化が生じた場合には、速やかに道路管制センター及び関係管理事務所に電子メール・電話により連絡を行うものとする。

(4) 障害時の対応

受注者は機器や通信回線等の障害時対応について発注者と連絡を密にして、速やかに復旧を行うよう努めるものとする。なお、障害が復旧するまでの間、受注者が発注者に提供する気象予測情報は、電話・電子メール等により提供を行うものとする。

(5) 体制構築・作業判断の支援

① 広域通行止め可能性時

東北支社及び各管理事務所において現地またはweb会議による気象情報提供が実施できるよう24時間体制を確保し、支援を行うこと。

② 異常気象想定時

異常気象（異常降雨、異常降雪、台風等）想定時の計画的な交通規制（範囲、時間帯）や体制構築の実施判断を支援すること。

短期予測は地域気象特性を踏まえ、各区間の降雪量・降水量を補正し最適な体制決定を支援すること。提供範囲は72時間先までとする。

2-2 暖候期保全業務支援

暖候期保全業務支援とは、下表に示す期間において本仕様書2-1 気象予測の提供を行うものをいう。

(1) 内訳書の区分

内訳書の項目	情報提供期間	予測区分	情報 提供回数
暖候期 保全業務支援A	2025年6月1日～2025年10月31日 2026年5月1日～2026年10月31日 2027年5月1日～2027年5月31日	短期予測	2回/日を標準とする
暖候期 保全業務支援B	2025年6月1日～2025年10月31日 2026年5月1日～2026年10月31日 2027年5月1日～2027年5月31日	週間予測	2回/週を標準とする

(2) 短期予測の提供内容

①提供時刻

6時00分、16時00分

②提供内容

提供内容は、予測区間毎の天気、降水量（時間及び連続）、風向・風速及び気象概況とする。気象概況は対象事務所毎に整理の上発表する。なお、情報提供様式は、監督員と協議のうえ決定するものとする。

③提供対象時間 発表時刻から72時間後までを標準とする。

(3) 週間予測の提供内容

①提供日時 毎週月曜日、金曜日の12時00分

②提供内容

提供内容は、予測区間毎の天気、気温（最低最高）、降水量、風速及び気象概況とし、日中及び夜間の半日単位で予測するものとする。対象期間は、提供日から向こう7日間とし、日中とは、9時00分～16時59分、夜間とは、17時00分～翌8時59分を指すものとする。なお、情報提供様式は、監督員と協議のうえ決定するものとする。

(4) 臨時予測

次の場合において、受注者は、定時予測情報と同一様式で臨時予測情報を提供するものとする。また、監督員の要請にかかわらず、防災対策の支援情報として臨機に適切な気象状況の説明資料を提供のうえ、発注者の防災対策の実施を積極的に支援するものとする。なお、これに伴う費用は、気象予測に含まれるものとする。

○定時予測を提供した後、天気の急変が予想される場合

○大雨が予想される場合及び台風の接近通過時

○大型連休や工事などにより当社からの要請があった場合

2-3 雪氷期保全業務支援

雪氷期保全業務支援とは、下表に示す期間において本仕様書2-1 気象予測の提供を行うもの

をいう。

(1) 内訳書の区分

内訳書の項目	情報提供期間	予測区分	情報 提供回数
雪氷期 保全業務支援 A	2025 年 11 月 1 日～2025 年 12 月 15 日 2026 年 3 月 1 日～2026 年 4 月 30 日 2026 年 11 月 1 日～2026 年 12 月 15 日 2027 年 3 月 1 日～2027 年 4 月 30 日	短期予測	2 回/日を標準とする
雪氷期 保全業務支援 B	2025 年 12 月 16 日～2026 年 2 月 28 日 2026 年 12 月 16 日～2027 年 2 月 29 日		4 回/日を標準とする
雪氷期 保全業務支援 C	2025 年 11 月 1 日～2026 年 4 月 30 日 2026 年 11 月 1 日～2027 年 4 月 30 日	週間予測	3 回/週を標準とする

(2) 短期予測の提供内容

①提供時刻

第 1 回目 6 時 00 分

第 2 回目 10 時 00 分 (12 月 16 日～2 月 28 日または 2 月 29 日)

第 3 回目 16 時 00 分

第 4 回目 20 時 00 分 (12 月 16 日～2 月 28 日または 2 月 29 日)

②提供内容

提供内容は、予測区間毎の天気、降水量、降雪量、気温、路温、路面状態、風向・風速及び気象概況とする。気象概況は対象事務所毎に整理の上発表する。なお、情報提供様式は、監督員と協議のうえ決定するものとする。

③提供対象時間 発表時刻から 72 時間後までを標準とする。

(3) 週間予測の提供

①提供日時 毎週月曜日、水曜日、金曜日の 12 時 00 分

②提供内容

提供内容は、予測区間毎の天気、気温（最低最高）、降水量、降雪量、風速及び気象概況とし、日中及び夜間の半日単位で予測するものとする。対象期間は、提供日から向こう 7 日間とし、日中とは、9 時 00 分～16 時 59 分、夜間とは、17 時 00 分～翌 8 時 59 分を指すものとする。なお、情報提供様式は、監督員と協議のうえ決定するものとする。

(4) 臨時予測

次の場合において、受注者は、定時予測情報と同一様式で臨時予測情報を提供するものとする。また、監督員の要請にかかわらず、防災対策の支援情報として臨機に適切な気象状況の説明資料を提供のうえ、発注者の防災対策の実施を積極的に支援するものとする。

なお、これに伴う費用は、気象予測に含まれるものとする。

○定時予測を提供した後、天気の急変が予想される場合

- 大雪が予想される場合
- 視程障害が予想される場合
- 雨氷現象が予想される場合
- スタック発生の可能性がある場合
- 大型連休や工事などにより当社からの要請があった場合

(5) 年末年始の臨時予測情報

受注者は、監督員の指示に基づき、年末年始における長期間の気象予測情報を当社に提供するものとする。なお、提供時刻、対象期間等はその都度、監督員と協議のうえ決定するものとする。

2-4 評価・検討

受注者は、自らが行った気象予測と実際の気象状況を比較し、気象予測と実際の気象状況に乖離が発生した場合において、原因究明並びに予測モデルへの反映を行うとともに、予測精度を向上させるための対応策を検討のうえ監督員に報告するものとする。

また、受注者は、業務期間を通じて、各段階（準備・事前・時中）における予測精度向上及び予測と実況値が乖離した際の即時性のある気象予測修正のための技術改良や新技術の導入等に努めるものとする。

2-5 気象情報提供

気象情報提供とは、特記仕様書 2-1 道路気象予測により収集された気象情報、2-2 暖候期保全業務支援、2-3 雪氷期保全業務支援による道路気象予測等を Web に提供することをいう。Web は PC、iPad、スマートフォンで閲覧できるものとする。

提供内容は、下表の項目を基本とする。

メニュー名	内容	発表時刻 ・頻度
一般気象情報		
注意報・警報（特別警報を含む。）	発表（発令）・解除時の注意報・警報情報※過去 1 週間の履歴表示も可能とすること。	随時
地震情報	震度・震源等の情報	随時
津波情報	発表・解除時の警戒情報	随時
台風情報	実況・予想等の情報	随時
火山情報	噴火に関する警報等の情報	随時
アメダス	全国分布図	随時
都道府県アメダス	都道府県毎の観測ポイント	随時
気象合成レーダー	地域毎合成レーダーのエコー強度	随時
降水短時間予報	毎正時実況、1～6 時間先予想	随時
NEXCO 専用情報		

定時予測	各予測区間の降雨又は雪氷予測	定時予測提供時
臨時予測	各予測区間の降雨又は雪氷予測	臨時予測提供時
週間予測	各予測区間の向こう 7 日間の降雨又は雪氷予測	週間予測提供時
注意報・警報（特別警報を含む。）	管理事務所毎の注意報・警報の表示 ※履歴一覧表示も可能とすること。	随時
支社管内降雪予測図	定時予測発表時の降雪量を支社管内表示	2 回／日（6 時及び 16 時）
降雨監視図	降雨状況と時間雨量、連続雨量予測の組み合わせ降雨予測を表示	随時
雨雪分布図	雨雪解析実況及び 1～6 時間先予測	毎正時
上空の寒気	上空の寒気実況分布	毎正時
上空の風向・風速	上空の風向・風速実況分布図	毎正時
NEXCO の観測データ	NEXCO の観測データに関する日表・月表の表示及び CSV ダウンロード機能（管理事務所毎及び支社一括）	随時

※提供項目の詳細や画面構成、使用手順が明らかになる説明書等も併せて提供するものとする。

- （１）注意報・警報は、路線及び管理事務所別に一次・二次細分区域と市町村別に分類し、両形式により提供するものとし、発表時間の表示、過去 1 週間分の履歴も合わせて表示するものとする。
- （２）南海トラフ地震又は北海道・三陸沖後発地震に関連する情報が発令された場合、その旨を監督員に電話等により連絡するものとする。
- （３）気象提供業務は、システム構成概略図に基づくサーバー稼働状況を確認するものとする。
- （４）気象情報提供は、それぞれの端末特性を踏まえた情報提供をするものとする。
- （５）定時予測発表後、気象が急変し体制に影響を与える気象予兆が発現した段階において、携帯電話等に必要な情報を配信するものとする。

2-5-1 Web 会議による気象情報提供

受注者は、予測期間において、発注者の要望に応じて Web 会議による気象情報提供を行うものとする。Web 会議による気象情報提供では、2-3 雪氷期保全業務支援において、判定会議時に受注者による気象解説を行うことを標準とする。

Web 会議は Microsoft Teams を基本とする

2-6 気象警報情報メール提供

- （１）気象警報情報メール提供とは、気象に関する警報（大雨、洪水、暴風、大雪、暴風雪）、記録的短時間大雨情報、地震（震度 4 以上）、津波の情報、東北支社管内に関する火山情報等が発表された場合に、当社関係者（NEXCO 社員、関連会社社員等）への携帯電話・スマートフォン等携帯機器、タブレット等に受注者からメール形式による情報提供を行うものをいう。

なお、配信先アドレスの登録や削除は発注者にて行うものとし、紛失・漏洩等の生じないような形式により運用するものとする。

- (2) 気象警報情報メール提供には、本仕様書 2-6 (1) に示す気象警報情報メールの設定、情報更新、配信等気象警報情報メール提供に要するすべての費用を含むものとする。

2-7 ホームページ気象予測情報提供

- (1) ホームページ気象予測情報提供とは、当社が運営するホームページ上で、気象予測情報を閲覧できるよう予測情報を提供するシステムの運用を行うものをいう。

(2) 情報提供期間

情報提供期間	摘要
2025 年 11 月 1 日～2026 年 4 月 30 日 2026 年 11 月 1 日～2027 年 4 月 30 日	検測の単位は「月」とする

(3) 情報内容

情報内容	摘要
区間別短期予測（天気、降雪量、気温、風向・風速） 提供時刻は、2-3 (2) ①に準じる。（臨時は随時更新）	
当社が提供する気象観測局の気象観測データ（気温、路温及び風向・風速）	5 分間隔
ホームページ向けの気象概況のテロップ（80 字以内）	

(4) 情報伝達経路

情報伝達経路は、当社が運営するホームページ用に作成された気象情報データをデータ蓄積装置に登録し、ホームページからのリンクにより検索・閲覧できるものとする。

セキュリティは、受注者が構築するものとし、対策内容については、発注者が貸与する「東日本高速道路株式会社情報セキュリティ対策実施手順書（共通編）」によるものとする。

2-8 気象説明会の実施

受注者は、当該雪氷期における気象の傾向・特性または実施した業務支援等の振返りを NEXCO 東日本東北支社及び道路管制センター、NEXCO 東日本東北支社管内の各管理事務所において説明を行うものとし、その時期等は次のとおりとする。

①雪氷期前：各年度の 11 月頃（当該年度の雪氷期間前）を目途とし、当該年度の雪氷期における気象の傾向・特性等の説明を行う。

②雪氷期後：各年度の 5 月頃（前年度の雪氷期間明け）を目途とし、前年度雪氷期における本業務の振返り説明を行う。

2-9 報告書作成

2-9-1 報告書作成

報告書作成とは、対象となる期間に次の項目内容を取りまとめ、その報告書を作成することをいう。

- ①対象期間中の気象経過
- ②降雪予測に関する精度評価
- ③対象期間中の NEXCO 観測・地点別データの月・日集計、5分毎データの取りまとめ
- ④対象期間中の降雨、降雪等の気象要因による通行止発生時の気象状況と、受注者が行ったアフターフォローに関する事例解析
- ⑤技術提案内容に関する効果検証
- ⑥本業務サービスに関する要望等改善点の抽出及び対応内容
- ⑦各管理事務所提出降雪・降水事象解析資料

なお、対象期間中、監督員が上記内容に関して報告を指示した場合、受注者は、その内容について取りまとめ、監督員に提出するものとする。

報告書作成の対象期間は、次表のとおりとする。

項 目	対象期間	備 考
報告書作成 A	令和7年6月1日～令和8年4月30日	一部完了時
報告書作成 B	令和8年5月1日～令和9年5月31日	完了時

なお、報告書作成 B については、履行期間における総括を含むものとする。

2-9-2 報告書印刷製本

報告書印刷製本とは、本仕様書 2-9-1 に示す報告書作成の印刷製本を行うものをいい、次の項目の作成を行うものとする。

- 1) 報告書（A4版） 1部
- 2) 報告書（電子データ） 1部

報告書印刷製本の区分は、次表のとおりとする。

項 目	適用項目	摘 要
報告書印刷製本 A	報告書作成 A	一部完了時
報告書印刷製本 B	報告書作成 B	完了時

2-10 気象情報コンテンツ提供

(1) 定義

気象情報コンテンツ提供とは、受注者が、仕様書及び監督員の指示に従って休憩施設等に設置しているモニターに気象情報等の番組（以下、「番組」という。）の提供を行うこと並びに当社の

広報を支援するコンテンツを提供するものをいう。

また、本業務で制作、配信した情報提供番組を電子記録媒体で翌月 10 日までに監督員に提出し確認を得るものとする。なお、情報提供番組電子記録媒体の提出ができない場合は、本業務の履行状況が判断できる書類を提出し、確認を得るものとする。

気象情報コンテンツ提供には、情報提供番組及び各種コンテンツの企画及び制作、制作に伴うスタジオ等の費用、配信に必要な機器の費用を含むものとする。

（２）情報提供先

番組について、情報提供する休憩施設等は、別表－２に示す箇所とする。

（３）番組内容

① 動画コンテンツ

キャスターが出演する 2 分程度の番組のことを想定し、気象解説、大雨、大雪等異常気象トピックのほか、高速道路を利用するお客さまへ有益となる情報を含む。

② 静止画コンテンツ

静止画コンテンツの基本内容は下表を標準とし、企画及び製作を行うものとする。また、他支社に近い休憩施設においては、他支社管内を含めた内容とする。なお、基本内容の他、特別な静止画コンテンツを作成する場合の費用については、別途協議するものとする。

メニュー名	内容
■基本メニュー	
SA・PA のピンポイント天気	SA・PA のピンポイント短期予報
北東北エリアの天気	北東北の主要 IC・SA・PA・JCT の天気
南東北エリアの天気	南東北の主要 IC・SA・PA・JCT の天気
関東エリアの天気	関東の主要 IC・SA・PA・JCT の天気
実況天気	アメダス実況または NEXCO 観測実況値
雨雲レーダー	雨雲の様子
縦断勾配道路情報	天気予報・工事情報・雪氷作業情報
道路関係情報	道路利用者に資する情報
お知らせ	発注者からのお知らせ
■臨時メニュー	
工事情報	工事情報（予定情報も含む）。
注意報・警報・特別警報	東北 6 県の注意報・警報・特別警報
地震情報	東北 6 県の地震情報
津波情報	東北 6 県の津波情報
火山情報	東北 6 県の火山情報
台風情報	台風情報（台風発生時）
■緊急時のメニュー	
発注者からの緊急情報	直接介入可能な緊急情報（文字テロップ）

③ 番組編成

番組編成は、休憩施設毎の道路気象状況に合わせてそれぞれ異なる番組サイクル、動画・静止画を配信できるものとする。

④ 提供期間と区分

提供期間と区分は下表の通りとする。

内訳書の項目	区分内容
気象情報コンテンツ提供 (雪氷期) A	動画コンテンツ、静止画コンテンツの組み合わせを1サイクルの構成とし、動画コンテンツは1日4回以上更新、静止画コンテンツは情報に合わせて随時更新した番組内容を繰り返し24時間連続で配信するもの
気象情報コンテンツ提供 (雪氷期) B	関東支社管内に通信設備機器を設置する休憩施設において静止画コンテンツのみの構成として、情報に合わせて随時更新した番組内容を繰り返し24時間連続で配信するもの
気象情報コンテンツ提供 (暖候期)	静止画コンテンツのみの構成として、情報に合わせて随時更新した番組内容を繰り返し24時間連続で配信するもの

⑤ 配信時期

内訳書の項目	配信時期
気象情報コンテンツ提供 (雪氷期) A	2025年12月1日～2026年3月31日 2026年12月1日～2027年3月31日
気象情報コンテンツ提供 (雪氷期) B	2025年12月1日～2026年3月31日 2026年12月1日～2027年3月31日
気象情報コンテンツ提供 (暖候期)	2025年6月1日～2025年11月31日 2026年4月1日～2026年11月31日 2027年4月1日～2027年5月31日

2-1-1 打合せ

本業務における打合せの回数は、業務開始時、各年度中間、(一部)業務内容確認、(一部)完了時を基本とし7回を予定している。打合せの検閲数量は一式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。

2-1-2 NEXCOの観測データ収集

受注者は、NEXCOの気象中央局からオンラインシステムを介して、高速道路本線、インターチェンジ、ジャンクション等に設置している気象観測設備で観測された5分毎の全観測データを逐次収集する。なお、観測データの配信に係る仕様等は、監督員から別途指示する。

2-1-3 補足事項

次に示す事項については、関連する業務を追加する可能性があるため、受注者は、監督員と緊

密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は、速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は、監督員と受注者で協議して定めるものとする。

(1) 異常降雨時の通行規制に係る事項

※当該基準は、「高速道路における安全・安心実施計画（令和元年12月20日 東日本高速道路株式会社）で公表しているとおり令和7年度から新基準へ移行する予定である。

別表1 予測対象区間

管理事務所	路線名	予測区間
青森管理事務所	東北自動車道 青森自動車道	浪岡 IC～青森 IC 青森 IC～青森東 IC
青森管理事務所	東北自動車道	黒石 IC～浪岡 IC
青森管理事務所	東北自動車道	碓ヶ関 IC～黒石 IC
青森管理事務所	東北自動車道	小坂 IC～碓ヶ関 IC
青森管理事務所	東北自動車道	鹿角八幡平 IC～小坂 IC
青森管理事務所	東北自動車道	田山 TN～鹿角八幡平 IC
青森管理事務所	東北自動車道	安代 IC～田山 TN
盛岡管理事務所	八戸自動車道	安代 JCT～浄法寺 IC
盛岡管理事務所	東北自動車道	松尾八幡平 IC～安代 IC
盛岡管理事務所	東北自動車道	滝沢 IC～松尾八幡平 IC
盛岡管理事務所	東北自動車道	盛岡南 IC～滝沢 IC
盛岡管理事務所	東北自動車道	花巻 IC～盛岡南 IC
北上管理事務所	東北自動車道	水沢 IC～花巻 IC
北上管理事務所	東北自動車道	一関 IC～水沢 IC
北上管理事務所	東北自動車道	北上 JCT～北上西 IC
北上管理事務所	東北自動車道	北上西 IC～湯田 IC
北上管理事務所	東北自動車道	花巻 JCT～東和 IC
八戸管理事務所	八戸自動車道・百石道路	八戸 JCT～下田百石 IC
八戸管理事務所	八戸自動車道	南郷 IC～八戸 IC
八戸管理事務所	八戸自動車道	九戸 IC～南郷 IC
八戸管理事務所	八戸自動車道	浄法寺 IC～九戸 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	湯田 IC～横手 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	横手 IC～大曲 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	大曲 IC～協和 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	協和 IC～秋田中央 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	秋田中央 IC～昭和男鹿半島 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	昭和男鹿半島 IC～琴丘森岳 IC
秋田管理事務所	秋田自動車道	琴丘森岳 IC～能代南 IC
秋田管理事務所	湯沢横手道路	湯沢 IC～横手 IC
秋田管理事務所	日本海東北自動車道	河辺 JCT～岩城 IC

仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	若柳金成 IC～一関 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	築館 IC～若柳金成 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	古川 IC～築館 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	大衡 IC～古川 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	大和 IC～大衡 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	富谷 JCT～大和 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	泉 IC～富谷 JCT
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	仙台宮城 IC～泉 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	仙台南 IC～仙台宮城 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	村田 JCT～仙台南 IC
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	村田 IC～村田 JCT
仙台管理事務所（暖候期）	東北自動車道	白石 IC～村田 IC
仙台管理事務所（暖候期）	山形自動車道	村田 JCT～宮城川崎 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	若柳金成 IC～一関 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	古川 IC～若柳金成 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	泉 IC～古川 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	仙台宮城 IC～泉 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	村田 IC～仙台宮城 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	東北自動車道	白石 IC～村田 IC
仙台管理事務所（雪氷期）	山形自動車道	村田 JCT～宮城川崎 IC
仙台東管理事務所	常磐自動車道	新地 IC～山元 IC
仙台東管理事務所	常磐自動車道・ 仙台東部道路	山元 IC～岩沼 IC
仙台東管理事務所	仙台東部道路	岩沼 IC～仙台港北 IC
仙台東管理事務所	仙台東部道路	仙台港北 IC～利府中 IC
仙台東管理事務所	仙台北部道路	利府 JCT～利府しらかし台 IC
仙台東管理事務所	仙台北部道路	利府しらかし台 IC～富谷 IC
仙台東管理事務所	仙台南部道路	仙台若林 JCT～仙台南 IC
福島（暖候期）	東北自動車道	国見 IC～白石 IC
福島（暖候期）	東北自動車道	福島西 IC～国見 IC
福島（暖候期）	東北自動車道	本宮 IC～福島西 IC
福島（雪氷期）	東北自動車道	国見 IC～県境
福島（雪氷期）	東北自動車道	県境～白石 IC
福島（雪氷期）	東北自動車道	福島西 IC～国見 IC
福島（雪氷期）	東北自動車道	本宮 IC～福島西 IC
郡山管理事務所	磐越自動車道	小野 IC～いわき三和 IC
郡山管理事務所	磐越自動車道	郡山 JCT～小野 IC
郡山管理事務所	磐越自動車道	磐梯熱海 IC～郡山 JCT

郡山管理事務所	東北自動車道	須賀川 IC～本宮 IC
郡山管理事務所	東北自動車道	白河 IC～須賀川 IC
山形管理事務所	山形自動車道	宮城川崎 IC～笹谷 IC
山形管理事務所	山形自動車道	笹谷 IC～山形蔵王 IC
山形管理事務所	山形自動車道	山形蔵王 IC～寒河江 IC
山形管理事務所	山形自動車道	寒河江 IC～西川 IC
山形管理事務所	山形自動車道	西川 IC～月山 IC
山形管理事務所	東北中央自動車道	米沢北 IC～南陽高島 IC
山形管理事務所	東北中央自動車道	南陽高島 IC～かみのやま温泉 IC
山形管理事務所	東北中央自動車道	かみのやま温泉 IC～山形上山 IC
山形管理事務所	東北中央自動車道	山形上山 IC～山形 JCT
山形管理事務所	東北中央自動車道	山形 JCT～東根 IC
会津若松管理事務所	磐越自動車道	磐梯熱海 IC～猪苗代磐梯高原 IC
会津若松管理事務所	磐越自動車道	猪苗代磐梯高原 IC～磐梯河東 IC
会津若松管理事務所	磐越自動車道	磐梯河東 IC～会津板下 IC
会津若松管理事務所	磐越自動車道	会津板下 IC～津川 IC
会津若松管理事務所	磐越自動車道	西会津 IC～津川 IC
いわき管理事務所	常磐自動車道	いわき勿来 IC～いわき湯本 IC
いわき管理事務所	常磐自動車道	いわき湯本 IC～いわき四倉 IC
いわき管理事務所	常磐自動車道	いわき四倉 IC～常磐富岡 IC
いわき管理事務所	常磐自動車道	常磐富岡 IC～南相馬 IC
いわき管理事務所	常磐自動車道	南相馬 IC～新地 IC
いわき管理事務所	磐越自動車道	いわき JCT～いわき三和 IC
鶴岡管理事務所	山形自動車道	湯殿山 IC～庄内あさひ IC
鶴岡管理事務所	山形自動車道	庄内あさひ IC～鶴岡 IC
鶴岡管理事務所	日本海東北自動車道	鶴岡 IC～酒田みなと IC

別表 2 情報提供先

整理 番号	路線名	休憩施設名	上下区分	備考
1	東北自動車道	津軽 SA	上	
2	東北自動車道	津軽 SA	下	
3	東北自動車道	花輪 SA	上	
4	東北自動車道	花輪 SA	下	
5	東北自動車道	岩手山 SA	上	
6	東北自動車道	岩手山 SA	下	
7	東北自動車道	滝沢 PA	上	
8	東北自動車道	滝沢 PA	下	
9	東北自動車道	矢巾 PA	上	
10	東北自動車道	矢巾 PA	下	
11	東北自動車道	紫波 SA	上	
12	東北自動車道	紫波 SA	下	
13	東北自動車道	北上金ヶ崎 PA	上	
14	東北自動車道	北上金ヶ崎 PA	下	
15	東北自動車道	前沢 SA	上	
16	東北自動車道	前沢 SA	下	
17	東北自動車道	金成 PA	上	
18	東北自動車道	金成 PA	下	
19	東北自動車道	長者原 SA	上	
20	東北自動車道	長者原 SA	下	
21	東北自動車道	菅生 PA	上	
22	東北自動車道	菅生 PA	下	
23	東北自動車道	国見 SA	上	
24	東北自動車道	国見 SA	下	
25	東北自動車道	吾妻 PA	上	
26	東北自動車道	吾妻 PA	下	
27	東北自動車道	福島松川 PA	上	
28	東北自動車道	福島松川 PA	下	
29	東北自動車道	安達太良 SA	上	
30	東北自動車道	安達太良 SA	下	
31	東北自動車道	安積 PA	上	
32	東北自動車道	鏡石 PA	上	
33	東北自動車道	鏡石 PA	下	
34	東北自動車道	阿武隈 PA	上	

35	東北自動車道	阿武隈 PA	下	
36	八戸自動車道	折爪 SA	上	
37	八戸自動車道	折爪 SA	下	
38	秋田自動車道	錦秋湖 PA	上下集約	
39	秋田自動車道	西仙北 SA	上	
40	山形自動車道	櫛引 PA	上	
41	山形自動車道	寒河江 SA	上下集約	
42	山形自動車道	古関 P A	下	
43	磐越自動車道	磐梯山 SA	上	
44	磐越自動車道	磐梯山 SA	下	
45	磐越自動車道	五百川 PA	上	
46	磐越自動車道	五百川 PA	下	
47	磐越自動車道	阿武隈高原 SA	上	
48	磐越自動車道	阿武隈高原 SA	下	
49	常磐自動車道	湯ノ岳 PA	下	
50	常磐自動車道	鳥の海 PA	上下集約	
51	常磐自動車道	南相馬鹿島 SA	上下集約	
52	常磐自動車道	ならは PA	上	
53	常磐自動車道	ならは PA	下	
54	常磐自動車道	四倉 PA	上	
55	常磐自動車道	四倉 PA	下	
56	東北中央自動車道	山形 PA	下	
57	東北自動車道	佐野 SA	下	関東支社
58	東北自動車道	上河内 SA	下	関東支社
59	東北自動車道	那須高原 SA	下	関東支社
60	常磐自動車道	友部 SA	下	関東支社
61	常磐自動車道	中郷 SA	下	関東支社